

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



ホテルライクでモダンな“おしゃれな部屋”に住みたい！～ソフトシック・シックモダン・モダンヴィンテージ～（11のインテリアテイストシリーズ Vol.1）

家を新築するときやリフォームするとき、満足のいくものを作りたいのであれば、どんなインテリアにしたいのか、という明確なビジョンを持つことは大事です。

一口に「理想のインテリア」といっても、人それぞれです。好みや生活スタイル、家族構成などによって違いますし、誰ひとりとして全く同じということはありません。家族間でも意見が同じとは限りませんので皆で意見を出し合い、家族全員が居心地良く暮らせるインテリアを考えることが大切です。

海外には、それぞれの国や地域の特徴を生かした素敵なインテリアスタイルが多数ありま

す。ホワイトやグレーを基調としたシンプルな空間に、木目調の家具でナチュラルな雰囲気を醸し出している“北欧風インテリア”。南フランスの暖かな気候に似合う、明るく開放的な雰囲気が魅力の“南欧風インテリア”などなど、多種多彩なスタイルを見ていると、毎日長い時間を過ごす自分の家も自分好みに彩ってみたいくなりますよね。

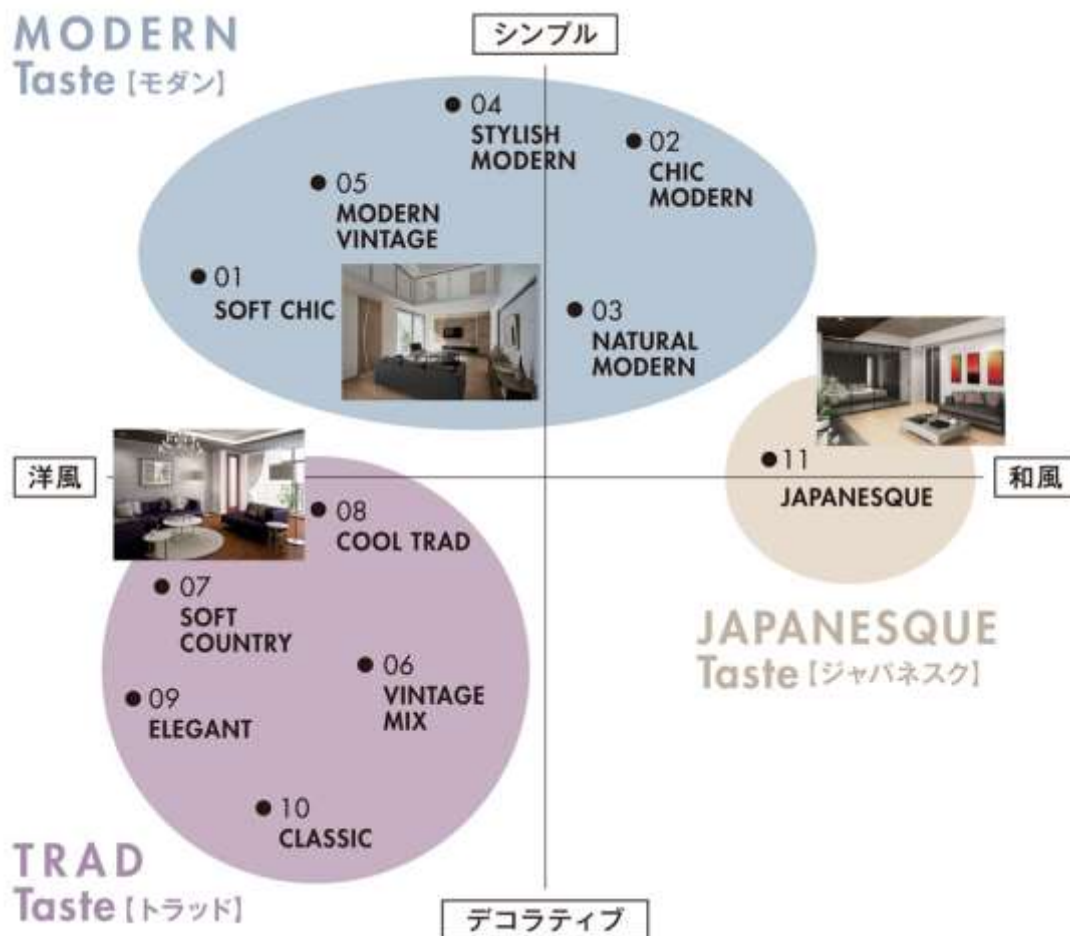


少し前は床やドアなどを同色でまとめるコーディネートが主流でしたが、現在は好みやこだわりも多様化していて、実現したい部屋のイメージがある方も増えています。ですが、いざ自分好みのおしゃれな部屋を作りたいと考えた際に、何をとっかかりにすればいいのか悩む方もいることでしょう。

そのような時の指針として役に立つのが「インテリアテイスト」という考え方です。空間イメージにあった様々なカラー・素材・質感の建材や家具を、様式やイメージで整理したものを「テイスト」として提案しています。この「インテリアテイスト」を基軸にして、部屋のコーディネートを考えると、まとまり感のあるおしゃれな部屋作りがとてもし易くなります。

多彩なインテリアテイストの中から好みを見つけよう

DAIKEN では、トレンドやニーズにあわせた独自の「11のインテリアテイスト」を提案しています。また、多彩に存在するインテリアテイストをわかりやすくするために、「モダン」「トラッド」「ジャパネスク」という3つの切り口に大別し、その3つに「11のインテリアテイスト」を分類しています。



【モダン】

直訳の「Modern=現代的」ではなく、シンプルでスッキリとしたデザインを示したテイスト。

(含まれるテイスト：ソフトシック、シックモダン、ナチュラルモダン、スタイリッシュモダン、モダンヴィンテージ)

【トラッド】

欧米の「Trad=伝統的な」インテリアを意識したテイスト。欧米の伝統的で様式性の高いデザインを取り込んでいる。

(含まれるテイスト：ヴィンテージミックス、ソフトカントリー、クールトラッド、エレガント、クラシック)

【ジャパネスク】

伝統的な和風ではなく、シンプルなインテリアに「Japanesque=和風」の要素を取り込んだテイスト。格子や水平基調のデザインなどでさりげない和の要素を表現。

(含まれるテイスト：ジャパネスク)

イメージの近いインテリアテイストが一目でわかるようにまとめられていますので、自分好みのテイストを探す際に役立つ事請け合いです。

そして、今回はこの「11のインテリアテイスト」中から、「モダン」に含まれる、「ソフトシック」「シックモダン」「モダンヴィンテージ」の3テイストを紹介します。

今後も、数回にわけて「11のインテリアテイスト」やその構成要素などを紹介していきますので、お部屋のコーディネートに興味がある方はぜひご期待ください。

シンプルなモダンを極める ～ソフトシック・シックモダン・モダンヴィンテージ～

●シンプルでいて洗練された空間「ソフトシック」

「ソフトシック」は近年トレンドのテイストで、シンプルでモダンな空間にトレンドのグレイッシュカラーを用いつつも、曲線基調のデザインで柔らかさや気品をプラスしたインテリアです。

上品で洗練された雰囲気の中にも程良い優しさを持つ部屋。それが「ソフトシック」なインテリアです。



こちらの部屋は吹き抜けのある開放的なリビングルームで落ち着きのあるグレイッシュカラーで統一されています。座り心地の良さそうな3人掛けのソファは落ち着きのあるダークグレーをチョイスしたことで、大人っぽい趣のあるリビングになっています。壁は『ハピアウォール デザインタイプ 壁パネル』、ドアは『ハピア K4 デザイン』、床は『ハピアフロア ベーシック柄』、収納は『ミセル/フィットシェルフ』で、いずれも「トープグレー」という木目色が使われています。

数年前からファッションの世界でもシックな色として人気の「トープ」。「トープ」とは、フランス語でモグラを意味する「Taupe（トープ）」が語源です。モグラの毛色のよ
うな、茶色がかった濃い灰色をトープ（グレー）と呼びます。普通のベージュよりも深み
があり、上品な色として人気があります。DAIKENでは、このトープ色を、深みがありな
がらも優しい印象の木目柄「トープグレー」として設定しました。

お部屋全体をグレイッシュ系の色に揃えたことで、リビング全体にシックな統一感が生ま
れています。

●部屋全体をビターな色味で統一「シックモダン」

落ち着いた格調高いテイストを求める人には、シンプルなデザインで重厚さを感じさせる
「シックモダン」はいかがでしょう。



細い石材を丁寧に積み重ねた印象の『グラビオエッジ フルツソ<ライトグレー>』、ド
アに年月を経た鉄板の風合いをもつ『ハピア ソリッド調 D7 デザイン<アイアンブラッ
ク>』、床にリアルな木目が魅力の『トリニティ<ウォールナット柄>』を使ったお部屋

です。

従来ならダークな木目でまとめていたところですが、トーンをまとめつつも石、鉄、木目と多様な素材を組み合わせるといったトレンドを取り入れた上質なコーディネートとなっています。組み合わせのシナジーによってそれぞれ鉄や木目といった素材感を引き立たせるワンランク上の上質な空間が誕生します。

アーバンリゾートを思わせる部屋で、ホテルライクな生活を送りたい方におすすめです。

●新しいヴィンテージ感の表現「モダンヴィンテージ」

シンプルな空間の中に、年月を感じる風合いの素材を取り入れた新感覚のテイストが「モダンヴィンテージ」です。



壁に石積調の『グラビオエッジ ブロック<ライトグレー>』、ドアに味わいのあるコンクリート柄の『ハピア ソリッド調<コンクリートグレー>』と、グレイッシュながらも上品な木目柄床材『トリニティ<バーチ柄 (グレー)>』をミックスさせたお部屋です。間仕切りに配置された『ハピア ラインフレーム 格子採光<ブラック>』がアクセントとなっており、スタイリッシュかつ現代的な空間を創り出しています。

海外のインテリアトレンドでもある素材と風合いの対比を堪能できるコーディネートで、洗練された大人好みの空間といえるでしょう。

今回は、DAIKEN が提案する「11 のインテリアテイスト」のうち、3 テイストを紹介しました。他のテイストも今後紹介していく予定ですので、ぜひチェックしてあなたのお好みのインテリアテイストを見つけてください。

コーディネートをサポートする便利ツールもご用意

もっと他のインテリアテイストを見てみたい、という方は DAIKEN のカタログ「インテリアイメージブック」をチェックしてみましょう。洗練された 11 種類のインテリアスタイルが豊富な実例写真付きで紹介されているので、眺めているだけでも素敵なインテリアの世界を散歩しているような気分を楽しめます。このようなカタログやインテリア雑誌を読むことで、漠然としていた理想の部屋のイメージから「実際にこんなインテリアに囲まれて暮らしたい」という具体的な形にしていくことが大切です。DAIKEN のカタログ「インテリアイメージブック」なら写真が豊富なので、見ているだけで自分が理想とするインテリアに近づく手助けになるでしょう。



インテリアイメージ WEB でシミュレーションした「ソフトシック」の部屋

また、DAIKEN が WEB 上で公開している、ドア、床、収納・壁、天井などの色柄を組み合わせて、自分好きな部屋をシミュレーションできる「インテリアイメージ WEB」は非常に便利です。

簡単操作で自分が思い描く部屋を、DAIKEN がおすすめする色柄の組み合わせをまとめた“コーディネート表”を参考にしながらつくってみてはいかがでしょうか。今回の記事で紹介した「ソフトシック」や他のインテリアテイストもメニューの“おすすめプラン”の中から選べますので、ぜひお試しください。

直接、製品を確認したい方は、お近くの「DAIKEN ショールーム」でご覧いただき、インテリアコーディネートを楽しんでください。

シミュレーションツール「インテリアイメージ WEB」 「空間シミュレーション」

<https://www.daiken.jp/pro/plan/kukan.html>

DAIKEN ショールーム

<https://www.daiken.jp/sr/>

※記事掲載時点の情報と、各ショールームの展示製品が異なる場合がございますので、あらかじめ各ショールームにお問い合わせ・ご確認のうえ、ご来館ください。

●次回記事：[レトロな部屋と現代風をミックスした“おしゃれな部屋”！ ～ヴィンテージミックス・ソフトカントリー・クールトラッド～（11のインテリアテイストシリーズ Vol.2）](#)

【DAIKEN リフォームマガジン 2019年12月号掲載】